

令和7年度障害者総合支援協議会 専門部会報告

I 相談支援部会

(1)活動報告

月日	協議事項
R7.4.24	部会長の選出・令和7年度の相談支援部会について(年間予定話合) 障がい者基幹相談支援センターと事業所の巡回訪問相談について
R7.5.22	研修会:当事者の声を聴く 内容:デュシェンヌ型筋ジストロフィー症で、重度訪問介護を利用している方のお話
R7.6.26	事例検討①相談支援事業所はやぶさ 「外国籍の文化や習慣による事業所等における対応の 難しさ。外国籍が多い富山県における社会資源について考える」
R7.7.24	研修会「相談支援における意思決定支援について」 講師:射水市障がい者基幹相談支援センター・センター長 寺岡 栄一氏
R7.8.28	事例検討②チャレンジャー 「聞きたくても聞くことのできない本人の思いをかなえるための支援について」
R7.9.19	視察研修 みやの森カフェ (民生委員・児童委員との合同研修) ※フリースタイルスクール、カフェなどの居場所視察、講演 講演:支援者(水野氏、加藤氏)と当事者(精神障がい者)のお話を聴く
R7.10.23	事例検討③むげん 「『一人暮らしさん』のこれから必要となる見立て支援の関わり方」
R7.11.27	研修会:「『ひとのま』の居場所支援について」講師:宮田 隼氏
R7.12.23	障がい・高齢合同研修会(重層的支援体制整備事業について)
R8.1.22	事例検討④あいネットいみず 「知的障害のある3人の50代男性の事例を通して」
R8.2.26	事例検討振り返り・地域課題の抽出
R8.3.19	まとめ 専門部会活動報告(各部会長出席)

◎令和7年度の活動から見えた課題

(1)多様化、複雑化するケースが増えており、障害・発達障がい・高齢・児童・多国籍・生活困窮などの複合的問題に横断的な対応ができる市役所内の体制を整えていただきたい。

(2)民生委員との連携などアウトリーチの必要性を感じているが、個人情報の問題もあり進めにくい現状がある。多職種連携の必要性もあり、情報共有ができる仕組みを検討する必要がある。

(3)昨年度の協議会でも相談支援部会から要望したが、ソーシャルワーク人材の育成のため、「射水市福祉人材就労奨励金」を社会福祉士、精神保健福祉士も対象とすることを引き続き要望する。

(4)コミュニティバスから「のる一と」に変更になり、利用しやすくなった方がいる一方で、知的障がい者や身体障がい者の中には利用できなくなった方がいる。地域生活を維持していくための「移動」に関する問題は、障がい者のみならず高齢者や運転できない若年者にも共通している。今後も利用しやすい公共交通期間の運行をお願いするものであるが、「のる一と」の協議会に障がい分野からの参加を希望する。

(5)移動支援や行動援護などのサービスの不足も問題となっている。

(2)関係機関

No.	機関名
1	高岡厚生センター射水支所
2	富山県立高岡支援学校
3	高岡市立こまどり支援学校
4	高岡障害者就業・生活支援センター
5	射水市社会福祉協議会
6	あいネットいみず
7	ふらっと
8	つどい
9	むげん
10	片口サポートセンターわが家
11	COCORO SUPPORT
12	輝星
13	相談支援事業所 well
14	チャレンジャー
15	シビックプライド新湊相談支援事業所
16	相談支援事業所 はやぶさ
17	グリーンヒルズ若草病院
18	太閤山病院
19	射水市社会福祉課

Ⅱ 子ども部会

(1)活動報告

◎第1回

日 時	令和7年6月27日(金) 10:00～12:00
場 所	フリースクールフレンズ(施設見学)、射水市役所大島分庁舎3階大会議場
内 容	
〈施設見学〉 フリースクールフレンズ 1 開会 2 部会長挨拶 3 議題 (1)講義 「NPO法人はあとびあ21」の取り組み ～不登校への理解と支援のあり方～ 講師:NPO法人はあとびあ21 理事長 高和 正純 氏 (2)質疑応答・意見交換 ・第1回はNPO法人はあとびあ21の「フリースクールフレンズ」の見学、理事長から講義を受けた。フリースクールの現在の取り組みや福祉(医療)と教育と家庭の連携の必要性を改めて学ぶ機会となった。また不登校への理解や支援のあり方、不登校児と障がい児の関係性も整理することができた。	

◎第2回

日 時	令和8年2月24日(火) 10:00～12:00
場 所	射水市大島分庁舎3階大会議室
内 容	
1 開会 2 部会長挨拶 3 議題 (1)「射水市子ども家庭センターについて」：射水市子ども福祉課 (2)令和7年度子ども部会報告 (3)医療的ケア児等ワーキンググループからの活動報告 (4)放課後等デイサービスワーキンググループからの活動報告 (5)報告への質疑応答、次年度子ども部会協議事項(案)について意見交換 ・第2回は射水市子ども家庭センターから事業概要や今後の展望等の報告を受ける。子ども家庭センターの役割を知ることで、連携の強化を図る機会となった。	

◎その他

- ・市内の放課後等デイサービス事業所がオンラインで参加している。
- ・医療的ケア児等の課題の取り組みに関して、コーディネーターの参画を図り、より活発な課題への取り組みのため に、医療的ケア児等ワーキンググループの立ち上げを行う。今後の方向性の整理を行い、課題の整理を行う。
- ・放課後等デイサービスワーキンググループの活動においては、協議会に反映することを目的に様々な活動を継続し、今後の方向性の整理を行い、課題の整理を行う

◎令和7年度の活動から見えた課題

- ・外国籍児童への支援:外国にルーツのある障がい児への具体的支援体制の整備の必要性
- ・連携(家庭、教育、福祉現場)体制の強化:「顔の見える」関係作りと情報共有の重要性
- ・18歳以降の切れ目ない支援が続く体制づくり
- ・地域での孤立防止:障がい児やその家族(医療的ケア児を含む)、制度のはざまにいる家族への支援体制作り
- ・医療的ケア児等の支援体制構築及び市内の医療機関(訪問看護、訪問リハ)とのさらなる連携強化
- ・不登校の障がい児へのサポート体制、居場所支援の必要性
- ・ケース、事例検討の必要性:地域課題の共有化

(2) 関係機関

No.	機関名	備考
1	高岡児童相談所	
2	高岡厚生センター射水支所	
3	高岡市きずな子ども発達支援センター	
4	射水市民生児童委員協議会	
5	一般社団法人Ponteとやま	
6	真生会富山病院	
7	(独)国立病院機構富山病院	
8	富山県発達障害者支援センター「ほっぷ」	
9	富山県医療的ケア児等支援センター「りあん」	
10	子どもの権利支援センター「ぱれっと」	
11	NPO法人はあとびあ21	
12	一般社団法人ガチョック	
13	射水市社会福祉協議会	
14	富山県立高岡支援学校	
15	富山県立こまどり支援学校	
16	射水市歌の森小学校	
17	射水市立小杉小学校	
18	富山福祉短期大学	協議会副会長
19	あいネットいみず	事務局
20	ふらっと	
21	チャレンジャー	放デイWK代表
22	輝星	
23	シビックプライド新湊相談支援事業所	
24	相談支援事業所well	医ケアWK代表
25	COCORO SUPPORT	
26	相談支援事業所はやぶさ	
27	こどもサポートハウス おりいぶ・おむすび	部会長
28	こどもサポートハウス おむすび	
29	こどもさぽーと nicoco	
30	射水市こども福祉課こどもすこやか係こども発達相談室	
31	射水市こども福祉課こども家庭係	
32	射水市子育て支援課	
33	射水市教育委員会 学校教育課	
34	射水市教育委員会 教育センター	
35	射水市社会福祉課	

※市内放課後等デイサービス事業所(15か所)はオブザーバーとしてオンライン参加あり

Ⅲ 就労支援部会

(1)活動報告

◎第1回

日 時	令和7年9月25日(木) 13:30～15:30
場 所	射水市役所大島庁舎 3階 大会議室
内 容	
議題 (1)開会 (2)部会長挨拶 (3)「就労パスポートについて」 講師 高岡公共職業安定所 統括職業指導官 木下 浩利 氏 (4) 工賃向上のための仕掛けについて「PONTE クリーンチームの紹介」 講師 一般社団法人ガチョック 澤田 啓輔 氏 (5)グループワーク「各事業所で工賃向上のための意見交換会」 事前にアンケートをとり、課題抽出を行った(別紙1)結果、今年度は「就労準備性」「工賃向上」をテーマとすることとした。 ハローワークが運用している就労パスポートの周知と、工賃向上に向けた仕掛け作りの説明を学び、その後、射水市就労支援部会内において横の繋がりを作っていく為にグループワークを行った。 現在射水市内では、作業能力が高い障害者はA型、作業能力が低い障害者はB型へという二極化が進んでおり、B型事業所においては「工賃を向上したいが仕事が無い」「作業能力的に、仕事を受けることが難しい」と言った課題が見えてきた。	

◎第2回

日 時	令和7年2月6日(金)13:30～15:00
場 所	射水市役所本庁舎 会議室401
内 容	
議題 (1)開会 (2)部会長挨拶 (3)今年度の各機関の活動状況報告について (4)「障がい者の就労支援の現状と職業準備性について」 講師 富山障害者職業センター 所長 日高 幸徳 氏 (5)グループワーク 就労支援事業所において、利用者が継続して通所すること(職業準備性)に関して講義を聞き、グループワークでは、通所を継続していくための現場で実践している関わり方などの意見交換が行われた。そういった施設同士の話し合いを繰り返すことで、施設同士の横の繋がりが生まれ、お互いの情報共有がでるようになってきたと感じている。 また、来年度に向けたアンケートで「しっかりと地域課題を抽出し、就労支援部会に活かすべきだ」との指摘もあった。	

◎令和7年度の活動から見えた課題

- ・工賃を向上させるために、事業所内での工夫を図っていくべき。
- ・工賃を向上させるために、事業所内作業の充実を図るために、企業との結びつきを考えていくべき。
- ・就労選択支援事業所が射水市内に無く、制度運用が始まったにも関わらず、具体的な状況が不明瞭となっている。

令和7年度 射水市障がい者総合支援協議会就労支援部会
『第1回目の就労支援部会開催に向けた現状把握のアンケート調査実施の結果』

1 現在抱えている福祉課題、検討課題の記述をお願いいたします。

【事業所】

(現場での困りごと)

- ・工賃向上のための意識の変革とそれに伴うスキルと分析力(利用者の作業支援方法と背景の理解)
- ・多様化している利用者の生活支援へどれだけアプローチできるか。
- ・スタッフ間のコミュニケーション時間をいかに確保して効率よくするか。
- ・職員の作業内容の過多。
- ・体験時には現れていなかった、まだ就労の段階まで達していないと後で分かった利用者さんへの対応等。
- ・一般就労、施設外作業を目指せる人材が少ない。

(射水市としての課題)

- ・就労継続支援事業所の連携が必要(災害時や緊急時の対応や、仕事の協力体制)及び事業所ごとの情報発信力。
- ・一般就労支援力の不足(勉強会は必要)
- ・支援学校や病院との情報共有化。
- ・身体障がいの方の受け入れ事業所が少ない。

(就労選択支援)

- ・就労選択支援の不明確さ。
- ・選択支援が開始されたあとの全体的な動き、流れがどうなっていくか気になります。

(交通)

- ・就労支援事業所へ通所するための移動手段。
- ・交通機関の不便さ。のる一との移動では定刻に到着できない。
- ・交通手段 コミュニティバス、のる一が不便

(その他)

- ・相談を受ける側から見える就労支援課題はどんなことがあるのか知りたい。
- ・スコアで収益が重要になったため、収入を得たい障がい者の方がA型で働けない。

【事業所以外】

(災害)

- ・災害発生時における、各事業所としての対応方法は検討されているか？
- ・土日など、休日に災害が発生した場合の安否確認は、各事業所としてどの程度対応する予定があるのか？

(その他)

- ・同居人がいる場合、障害福祉サービスでヘルパーの利用ができないため、そのような方をどのように支援していくか。

2 過去3年以内に事業所内で3人以上の就労実績

回答事業所 10

実績あり 2事業所 実績なし 8事業所

(2) 関係機関

No.	機関名	備考
1	高岡公共職業安定所 ハローワーク高岡	
2	高岡厚生センター射水支所	
3	高岡障害者就業・生活支援センター	
4	射水商工会議所	
5	射水商市工会	
6	射水市商工企業立地課	
7	富山県立高岡支援学校	
8	富山県立高岡高等支援学校	
9	真生会富山病院	
10	グリーンヒルズ若草病院	
11	太閤山病院	
12	ほまれの家小杉	
13	Self-A ハニービー小杉東	
14	射水多機能型就労支援センター	
15	FORGEEE フォージー	
16	いみず苑「はばたき」	
17	つどい「ワークホーム悠々」	
18	むげん「ワークプラザここから」	
19	プラスワン「えみふる」	
20	ジョブステーションさくら北部事業所	
21	ガチョック	
22	シビックプライド新湊	
23	る・ふっくらん	
24	ふらっと	
25	射水市社会福祉課	
26	あいネットいみず	

IV サービス事業者 部会

(1)活動報告

◎第1回

日 時	令和 7 年 8 月 25 日 (月) 13:30 ～ 15 : 30
場 所	大島庁舎
内 容	
議題「強度行動障害を伴う当事者の地域生活を支えるために我々に何ができるか」 【事例検討】 共有されたケースは、母親と在宅で生活している他害行為のある20代男性のケースをもとに、地域生活を継続するために何が必要かを意見交換した。また、基幹相談支援センターが関わるケースとして、射水市在住の20代男性が母親と2人暮らしをしており、自宅や車内で母親への暴力行為(叩く・噛みつく等)が発生していた。服薬調整のため北陸病院への通院を試みたが、通院継続が困難となり、最終的に自宅で暴れた際に警察介入を経て医療保護入院となった。主治医からは療養介護の必要性が示された。 また、強度行動障害者への支援について、国立のぞみの園のような「集中的支援による一時入所と地域移行支援」の仕組みが紹介され、富山県内には同様の支援体制が十分整備されていない現状が共有された。 【主な課題】 ・強度行動障害者が地域で安全に生活できる支援体制や受け入れ先が不足している。 ・療養介護は医療的ケアや身体介護中心の制度設計となっており、環境調整を重視する強度行動障害支援とのミスマッチがある。 ・家族が限界状態になって初めて行政が動くケースがあり、早期支援の仕組みが不足している。 ・富山県では、集中的支援や広域的支援人材の派遣体制が未整備で、人材不足も深刻である。 ・他県では確立されている広域支援やコンサルテーション体制が富山県には十分存在していない。 ・強度行動障害支援に関する研修機会が限られており、実践的な人材育成が追いついていない。 ・行政・基幹相談支援センター・事業所間で連携し、支援人材の派遣や相談窓口など地域全体の仕組みづくりが必要とされている。 ・当事者が安心して地域生活を送るための「人・モノ・仕組み」の整備と、実態把握の推進が求められている。 ・自立支援協議会等を通じ、地域課題を県レベルの制度改善につなげていく必要がある。	

◎第2回

日 時	令和7年11月25日(火) 13:30～15:30
場 所	大島庁舎
内 容	
議題 「障害福祉サービス利用者の高齢化と介護保険移行」 【事例検討】 全国的に障害福祉サービス利用者の高齢化が進み、射水市でも65歳以上の利用者の介護保険サービスへの移行が課題となっている。特に入所施設では高齢利用者が増加し、身体機能の低下に伴い、施設が高齢者施設化している現状が共有された。その結果、若い障害者の受け入れが難しくなっている。 また、障害支援区分と介護保険の要介護認定に差があり、障害特性が介護認定に反映されにくいことから、実際の支援量に見合わない低い認定となるケースが報告された。認定調査や医師意見書の内容によっても結果に差が生じるため、必要に応じた区分変更申請の重要性が確認された。 さらに、介護保険移行後は自己負担額が増加し、年金収入のみでは施設利用が困難になるなど、経済的負担も大きな課題として挙げられた。介護保険事業所側に知的障害者支援の経験が少ないことや、本人の環境変化への不安、医療と介護の連携の難しさなども共有された。 【主な課題】 ・障害福祉サービス利用者の高齢化により、入所施設が高齢者対応中心となり、若年利用者の受け入れが難しくなっている。 ・障害支援区分と介護保険認定の評価基準が異なり、実態より低い要介護認定となる場合がある。医師意見書や認定調査で本人状況が十分反映されないことがある。 ・介護保険移行後は自己負担が増加し、経済的負担が大きい。 ・要介護度が低い場合、利用できるサービスが限られ、移行先確保が困難になる。 ・介護保険事業所に知的障害者支援の経験が少なく、受け入れに不安がある。 ・本人にとって長年生活した環境からの移行は心理的負担が大きい。 ・認知症進行時の医療・介護・障害福祉の連携体制が十分ではない。 ・「65歳で一律に介護保険へ移行する制度」のあり方自体への課題提起があった。 ・地域の支え合い機能の低下や人材不足が進む中、多職種連携と地域全体での支援体制構築が必要とされている。	

◎令和7年度の活動から見えた課題

1. 重度化・高齢化に対応できる地域支援体制の不足

強度行動障害や高齢化など、支援ニーズが複雑化している一方で、地域で継続的に支えられるサービスや受け入れ先が不足している。その結果、家族負担の増加や施設の長期化につながっている。

2. 制度間のギャップによる支援の受けにくさ

障害福祉制度と介護保険制度では評価基準や支援の考え方が異なり、本人の実態に合った支援につながりにくい。特に、強度行動障害や知的障害の特性が制度上十分反映されにくいことが課題となっている。

3. 専門的人材と連携体制の不足

強度行動障害支援や高齢障害者支援を担う専門的人材が不足しており、支援機関同士の連携体制も十分ではない。地域全体で支えるための人材育成や、多職種・多機関連携の仕組みづくりが求められている。

(2) 関係機関

No.	事業所名	サービス	備考
1	いみず苑 ひびき愛	入所	
2	通所センターさんが	生活介護	
3	地域生活支援・交流ハウスふらっと		
4	片ロデイサービスわが家		
5	イェトカフェ 二の丸		
6	七美ことぶき苑デイサービスセンター	基準該当	
7	海王デイサービス		
8	デイサービスセンターりらいあんす		
9	ケアサークルひばり		
10	エスポワール小杉デイサービスセンター		
11	大江苑デイサービスセンター		
12	こぶし園デイサービスセンター		
13	いちにのさんぽデイサービス		
14	デイサービスわしづか		
15	太閤の杜デイサービスセンター		
16	イヤサー新湊		
17	特定非営利活動法人 月と太陽		
18	いみずの里デイサービス		
19	つくしの家いみず		
20	いみず苑	GH	
21	のぞみ		
22	さくらグループホーム北部事業所		
23	グループホーム結		
24	特別養護老人ホーム 大江苑	短期入所	
25	社会福祉法人海友会 海王ショートステイ		
26	いみず苑 ひびき愛		
27	いみず苑グループホーム短期入所		
28	ショートステイ結		
29	よろこび射水緑ケアセンター	居宅・同行	
30	ニチイケアセンター新湊		
31	大江苑ヘルパーステーション		
32	射水市大門在宅介護支援センター		
33	ニチイケアセンターいみず		
34	ヘルパーステーションやまぶき		
35	つどい	相談	
36	ふらっと		
37	あいネットいみず		
38	むげん		
39	片ロサポートセンターわが家		
40	COCORO SUPPORT		
41	輝星		
42	相談支援事業所well		
43	チャレンジャー		
44	あんど		R7.11.30廃止
45	シビックプライド新湊相談支援事業所		
46	相談支援事業所はやぶさ		